

第2次加須市交通安全計画 進行管理調書（実施状況報告書）

1 交通安全意識の向上

(1) 子どもから高齢者まで生涯にわたる交通安全教育の推進

①子どもに対する交通安全教育

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	市内保育所における交通安全教室の実施園 (園)						
1	保育園児を対象とした交通安全教室の実施（公立保育所管理運営事業、民間保育所運営委託事業） こども保育課	【目的】 園児に交通ルールや交通マナーを学んでもらい、子どもを交通事故から守る。 【概要】 保育園児を対象に市内保育所で交通安全教室を実施し、交通ルールや交通マナーを学び、子どもを交通事故から守る。	・市内保育所において日頃の指導により交通安全教室を含めた交通安全教育を実施し、園児に交通ルール・交通マナーの啓発を行い、交通事故の防止に努めた。 ※令和3年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交通安全教室は8園で実施。	6 コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	市内保育所における交通安全教室の実施園 (園)						・今後も引き続き、市内の全園において園児への交通ルール・交通マナーの啓発に努める。 ・園児と同様に、保護者地域住民等も含め、交通安全意識の醸成を図る。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	22	20	20	20	20	20	
					実績	8	8					
【評価の理由】 交通安全教室については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施しない園も多く、20園中12園で実施しなかったものの、市内全ての園において、日頃の指導によって園児に交通ルール・交通マナーの啓発を行い、交通事故の防止に努めることができた。												
2	幼稚園児等を対象とした交通安全教室の実施（公立幼稚園管理運営事業、民間認定こども園・幼稚園等給付費支給事業） こども保育課、学校教育課	【目的】 園児に交通ルールや交通マナーを学んでもらい、子どもを交通事故から守る。 【概要】 幼稚園児等を対象に市内幼稚園・認定こども園で交通安全教育を実施し、交通ルールや交通マナーを学び、子どもを交通事故から守る。	・市内幼稚園、認定こども園において、日頃の指導により交通安全教室を含めた交通安全教育を実施し、園児に交通ルール・交通マナーの啓発を行い、交通事故の防止に努めた。	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	市内幼稚園・認定こども園における交通安全教育の実施園 (園)						・今後も引き続き、市内の全園において園児への交通ルール・交通マナーの啓発に努める。 ・園児と同様に、保護者地域住民等も含め、交通安全意識の醸成を図る。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	—	16	16	16	16	16	
					実績	—	16					
【評価の理由】 市内全ての園において、日頃の指導によって園児に交通ルール・交通マナーの啓発を行い、交通事故の防止に努めることができた。												

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	市立小学校における交通安全教室の実施校 (校)						
3	小学校児童を対象とした交通安全指導の実施(学校教育管理事業)	【目的】 市立小学校において、児童の発達段階にあった内容で、警察署と連携しながら交通安全教室を実施し、交通ルールや交通マナーの習得を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> すべての市立小学校において、警察署と連携しながら交通安全教室を実施した。交通ルールや交通マナーについて指導するとともに、実際に体を動かしながら学んだことを確かめることで、日頃の生活で活用できるよう留意した。 	1 目標を達成	年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> 市内小学生の交通事故の原因として飛び出しが多い。日頃から繰り返し指導していくことで、交通安全の意識を高めていきたい。
	目標	22			22	22	22	22	22			
	学校教育課	【概要】 すべての市立小学校において、児童の発達段階にあった内容で、警察署と連携しながら交通安全教室を実施した。			【評価の理由】 すべての市立小学校において、警察署と連携しながら交通安全教室を実施することができた。							
4	子ども自転車運転免許事業の実施(交通安全啓発事業)	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 加須警察署や各交通安全団体と連携し、小学校4年生を対象とした自転車運転免許事業を実施 実施時期：5月～7月 対象者数：894名	2 概ね達成	指標(単位)	市立小学校における子ども自転車運転免許事業の実施校 (校)						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市立小学校・加須警察署・各交通安全団体と連携し、小学生の交通事故を防止するため、子ども自転車運転免許事業を実施する。
	年度	2年度			3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
	交通防犯課	【概要】 ・関係機関や各種団体と連携し、小学校4年生を対象とした自転車運転免許事業を実施する。			目標	22	22	22	22	22	22	
					【評価の理由】 市立各小学校4年生を対象とした子ども自転車運転免許事業について、各交通安全団体と協働し、すべての市立各小学校で実施できた。							

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	市立中学校における交通安全指導の実施校 (校)						
5	中学校生徒を対象とした交通安全指導の実施(学校教育管理事業)	【目的】 市立中学校において、生徒の発達段階にあった内容で、警察署と連携しながら交通安全指導を実施し、交通ルールや交通マナーの習得を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> すべての市立中学校を対象に、警察署と連携しながら交通安全指導の充実を図り、交通ルールや交通マナーについて指導した。事故の発生原因にも触れ、交通安全に対する意識の向上を目指した学習指導も行った。 	1 目標を達成	年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> 自転車に乗る機会が増えるので、日頃から、交通安全については繰り返し指導を行っていく必要がある。事故を防ぐためにはどうすればよいか、自ら考える場も設定するなど工夫して指導していきたい。
	目標	8			8	8	8	8	8			
	学校教育課	【概要】 すべての市立中学校を対象に、警察署と連携しながら交通安全指導を行った。			実績	8	8					
					【評価の理由】 すべての市立中学校を対象に、警察署と連携しながら交通安全指導を実施することができた。							
6	中学生交通安全講習会の実施(交通安全啓発事業)	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 加須警察署と連携し、中学1年生を対象とした交通安全教育を実施 実施時期：5月～12月 対象者数：926名	1 目標を達成	指標(単位)	市立中学校における交通安全講習会の実施校 (校)						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市立中学校・加須警察署・各交通安全団体と連携し、中学生の交通事故を防止するため、中学生交通安全講習会を実施する。
	年度	2年度			3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
	交通防犯課	【概要】 ・関係機関や各種団体と連携し、中学校1年生を対象とした中学生交通安全講習会を実施する。			目標	8	8	8	8	8	8	
					実績	8	8					
					【評価の理由】 市立各中学校1年生を対象とした中学生交通安全講習会について、各交通安全団体と協働し、すべての市立各中学校で実施できた。							

第2次加須市交通安全計画 進行管理調書（実施状況報告書）

1 交通安全意識の向上

(1) 子どもから高齢者まで生涯にわたる交通安全教育の推進

②高校生・若者・成人に対する交通安全教育

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	自転車マナーアップ推進校における交通安全活動の実施回数 (回)						
7	自転車マナーアップ推進校における自転車事故防止活動の推進（交通安全啓発事業）	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、自転車の安全利用の促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・R3.4.1からR4.3.31までの期間、花咲徳栄高等学校を自転車マナーアップ推進校に指定（加須警察署） ・R3.10花咲徳栄高等学校の生徒を対象に、交通安全講習会を開催（加須警察署） 	1 目標を達成	指標(単位)	自転車マナーアップ推進校における交通安全活動の実施回数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> ・市内に所在する高校を対象に交通安全講習会を加須警察署において開催する。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	1			1	1	1	1	1			
	実績	1			1							
交通防犯課	【概要】 ・花咲徳栄高等学校の生徒を対象に交通安全講習会を実施する。 ・自転車マナーアップ啓発キャンペーンを実施する。				【評価の理由】 令和3年10月に花咲徳栄高等学校において、同校生徒対象に交通安全講習会を開催した。 なお、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、交通安全講習会はリモートで実施した。							
					8	無事故キャンペーンの実施（交通安全啓発事業）	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・6月25日の加須市うどんの日に合わせ、関係機関・交通安全団体とともに、無事故キャンペーンを実施 	1 目標を達成	指標(単位)	無事故（625）キャンペーン実施回数 (回)	
年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度						6年度	7年度 (目標年)	
目標	—	1	1	1		1	1					
実績	—	1										
交通防犯課	【概要】 ・6月25日の加須市うどんの日のイベントに併せ、無事故キャンペーンを行う。				【評価の理由】 6月25日の加須うどん会によるイベントは新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となったが、本庁舎エントランスホールにおいて、加須警察署や加須市交通安全母の会加須支部と連携し、無事故キャンペーンを行うことができた。							

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の実施内容等
					指標(単位)	成人式における交通安全啓発実施回数 (回)						
9	成人式での交通安全啓発の実施(成人式開催事業)	【目的】 成人式にて、交通安全啓発を行い、交通ルールや交通マナーの向上を図る。	・R4.1.9に市内4箇所の成人式会場における交通ルール順守や交通マナー向上の啓発物の配布(4会場：加須文化・学習センター、騎西総合体育館、北川辺文化・学習センター、大和根文化・学習センター)	1 目 標 を 達 成	年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	1	1	1	1	1		
					実績	1	1					
					【評価の理由】 市内4箇所の成人式会場にて、交通安全・交通ルール順守の啓発物を配布した。							
	生涯学習課	【概要】 ・市内の成人式会場にて、交通ルールの順守、交通マナーの向上を呼びかける。										・二十歳の集い対象者が交通安全を強く意識できるよう、交通ルールの順守や交通マナーの向上、飲酒運転の根絶などを呼びかける。 (令和4年度より名称が変更される。成人式→二十歳の集い)

第2次加須市交通安全計画 進行管理調書（実施状況報告書）

1 交通安全意識の向上

(1) 子どもから高齢者まで生涯にわたる交通安全教育の推進

③高齢者に対する交通安全教育

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)							
10	敬老会での交通安全啓発の実施（敬老会助成事業） 高齢介護課	【目的】 地区・地域敬老会の開催に対して補助金を支出する。 【概要】 ・社会福祉協議会主催の敬老会に対し、補助金を交付し、敬老会を実施する。	・各地区・地域の敬老記念品の配布に併せて交通安全のチラシを配布し、普及啓発を行った。	6 コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	敬老会での交通安全啓発回数 (回)						・各地区・地域敬老会において交通安全に関する掲示を行い、普及啓発を継続する。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	16	16	16	16	16	16	
					実績	0	0					
【評価の理由】 新型コロナウイルス感染症対策のため、敬老会式典の開催は中止になったが、市内の地区・地域において敬老記念品等の配布に併せて、敬老会対象者（16,356人）へ交通安全のチラシを配布できた。												
11	ふれあいサロンでの交通安全啓発の実施（ふれあいサロン事業） いきいき健康長寿課	【目的】身近な場所に仲間との交流の場を提供しおしゃべりや運動の機会を増やすことで閉じこもりや認知機能の低下を予防する。 【概要】 ・高齢者の歩いていける場所で、介護予防サポーターや地域と協働し、高齢者の仲間作りや活動の場を提供する。	・新型コロナウイルス感染拡大防止のため活動の自粛をしていたが、9月よりサロン活動を再開 ・新規ふれあいサロンの開設と把握 ・高齢者相談センターとの連携 ・介護予防サポーター及び健康づくりサポーター会議の実施	6 コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	ふれあいサロンでの交通安全啓発回数 (回)						・ふれあいサロンにて交通安全のチラシを配布し、普及啓発活動を実施していく。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	109	132	138	144	150	156	
					実績	0	0					
【評価の理由】 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ふれあいサロンの活動の自粛を要請し、令和3年9月から順次活動を再開したが、活動時間短縮等感染対策を講じながらの活動となり、啓発活動を実施することができなかったため。												

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)							
12	老人クラブ各種事業での交通安全啓発の実施(老人クラブ支援事業)	【目的】 健康づくり・介護予防活動、友愛活動、社会活動への積極的な参画を通じて、明るい長寿社会づくりに資する。	・交通安全教室を開催した。また、総会やスポーツ大会等の行事の際に、交通安全研修を行ったり、啓発チラシの配布、パネル展示、啓発グッズの配付を行った。	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	チラシ、パンフレットの配布及びパネル掲示の延べ回数 (回)						・交通安全啓発活動を実施していない地域があるため、全ての地域で啓発が行われるよう働きかける。 ・引き続き、老人クラブ総会、グラウンド・ゴルフ大会等において、交通安全に関する情報提供や意識啓発、注意喚起を行う。
	高齡介護課	【概要】 ・老人クラブ連合会におけるグラウンド・ゴルフ大会、ワナゲ大会、交通安全教室、研修会、文化創作展等の開催支援、地域内での社会奉仕活動を支援する。			年度	2年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
					目標	10	10	10	10	10	10	
					実績	10	11					
					【評価の理由】 多くの実施事業で啓発を行い、目標値以上の活動を行うことができたため。							
13	高齢者を対象とした交通安全教室の実施(交通安全啓発事業)	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	・例年、高齢者を対象に、参加・実践型の高齢者交通安全教室を開催開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施を見合わせ、交通安全に関するチラシを送付。	6 コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	参加・実践型高齢者交通安全教室の参加者数 (人)						・参加者の募集方法や教室の実施内容などについて検討し、より多くの参加者を募集できるように改善する。
	交通防犯課	【概要】 ・各季交通安全運動期間に交通安全の啓発を行う。 ・参加・実践型高齢者交通安全教室、子ども自転車運転免許事業、中学生対象の交通安全教室を実施する。 ・敬老会等各地域のイベントにおける交通安全啓発を実施する。			年度	2年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
					目標	225	200	200	200	200	200	
					実績	0	0					
					【評価の理由】 例年、加須警察署、埼北自動車学校、埼玉県防犯・交通安全課と連携を図りながら、参加・実践型高齢者交通安全教室を年4回開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見合わせ、高齢者福祉課(現高齢介護課)が敬老会中止のお知らせを16,356人に送付する際に、高齢者の交通事故の特徴を踏まえた交通安全に関する啓発チラシを同封し、広く高齢者に交通安全啓発を行うことができた。その他、老人クラブ等の会合の際においても、交通安全啓発チラシを配布することができた。							

【参考】

※加須警察署提供

項目(単位)	自動車運転免許保有人口と返納者の推移						(人)
	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
運 転 免 許 保 有 者 数	埼玉県	4,707,999	4,715,352				
	加須市	79,092	79,003				
	(内65歳以上)	22,134	22,668				
	割合	28.00%	28.69%				
	免許返納者数	413	377				

第2次加須市交通安全計画 進行管理調書（実施状況報告書）

1 交通安全意識の向上

(1) 子どもから高齢者まで生涯にわたる交通安全教育の推進

④障がい者に対する交通安全教育

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	通所事業所における交通安全教室等の実施率 (%)						
14	各種事業での交通安全啓発の実施（障害福祉管理事業） 障がい者福祉課	【目的】心身の障害のために交通安全運動に関する情報が届きにくく、交通安全運動に加わる機会が少ないと考えられる方たちに対し、必要な情報を伝え、協働による交通安全啓発活動の展開と定着を図る。 【概要】 ・市内の障がい者通所事業所やグループホーム、生活ホームの事業所へ利用者本人・保護者・介護者等に対する啓発活動を加えてもらい、交通安全活動の活性化へつなげる。	・障がい者団体個々の事業やスポーツ交流大会等さまざまな機会に交通安全を呼びかけるとともに、障害福祉事業所ごとの利用者向け交通安全教室の実施を働きかけながら、日々の声掛けを積極的に行い、当事者やその家族に対して交通事故や交通安全に関する情報を発信し、障害の種別や程度に応じた啓発を行う。	2 概 ね 達 成	指標(単位)	通所事業所における交通安全教室等の実施率 (%)						・すべての事業所において呼びかけや働きかけは行っているが、交通安全教室や講座を行っている事業所はまだ少数である。今後も交通安全教室及び講座の実施について事業所へ促す。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	100	60	70	80	90	100	
					実績	50.0	50.0					
					【評価の理由】 日頃の声掛けや呼びかけを積極的に行いながら、交通安全教室の開催など利用者等に交通ルールや交通マナーの啓発、交通事故の防止に努めたが、実績が目標に達しなかった。							

第2次加須市交通安全計画 進行管理調書（実施状況報告書）

1 交通安全意識の向上

(1) 子どもから高齢者まで生涯にわたる交通安全教育の推進

⑤外国人に対する交通安全教育

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の実施内容等
					指標(単位)	転入外国人に対する交通安全教育テキストの配布率 (%)						
15	外国人に対する交通安全教育の推進（交通安全啓発事業） 交通防犯課	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。 【概要】 ・外国人が転入手続きする際に、日本の交通ルールを周知するため埼玉県警察発行の交通安全教育テキストを配布する。	<ul style="list-style-type: none"> ・転入手続等で来庁した外国人に対し、埼玉県警察発行の交通安全教育テキストを配布 ・市ホームページに外国人向け交通安全ガイドを掲載 	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	転入外国人に対する交通安全教育テキストの配布率 (%)						<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、外国人に対する交通安全教育を推進する。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	100	100	100	100	100	100	
					実績	100	100					
					【評価の理由】 転入手続等で来庁した外国人に対し、埼玉県警察発行の交通安全教育テキストを配布することができた。							

第2次加須市交通安全計画 進行管理調書（実施状況報告書）

1 交通安全意識の向上

(2) 自転車安全利用の推進

①自転車利用者への交通安全教育

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	市立小学校における子ども自転車運転免許事業の実施校 (校)						
16	《再掲》子ども自転車運転免許事業の実施（交通安全啓発事業）	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・加須警察署や各交通安全団体と連携し、小学校4年生を対象とした自転車運転免許事業を実施 実施時期：5月～7月 対象者数：894名	1 目標を達成	指標(単位)	市立小学校における子ども自転車運転免許事業の実施校 (校)						<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市立小学校・加須警察署・各交通安全団体と連携し、小学生の交通事故を防止するため、子ども自転車運転免許事業を実施する。
	年度	2年度			3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)			
					目標	22	22	22	22	22	22	
					実績	22	22					
	交通防犯課	【概要】 ・関係機関や各種団体と連携し、小学校4年生を対象とした自転車運転免許事業を実施する。			【評価の理由】 市立各小学校4年生を対象とした子ども自転車運転免許事業について、各交通安全団体と協働し、すべての市立各小学校で実施できた。							
17	《再掲》中学生交通安全講習会の実施（交通安全啓発事業）	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・加須警察署と連携し、中学1年生を対象とした交通安全教育を実施 実施時期：5月～12月 対象者数：926名	1 目標を達成	指標(単位)	市立中学校における中学生交通安全講習会の実施校 (校)						<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、市立中学校・加須警察署・各交通安全団体と連携し、中学生の交通事故を防止するため、中学生交通安全講習会を実施する。
	年度	2年度			3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)			
					目標	8	8	8	8	8	8	
					実績	8	8					
	交通防犯課	【概要】 ・関係機関や各種団体と連携し、中学校1年生を対象とした中学生交通安全講習会を実施する。			【評価の理由】 市立各中学校1年生を対象とした中学生交通安全講習会について、各交通安全団体と協働し、すべての市立各中学校で実施できた。							

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	自転車マナーアップ推進校における交通安全活動の実施回数 (回)						
18	《再掲》自転車マナーアップ推進校における自転車事故防止活動の推進(交通安全啓発事業) 交通防犯課	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、自転車の安全利用の促進を図る。 【概要】 ・花咲徳栄高等学校の生徒を対象に交通安全講習会を実施する。 ・自転車マナーアップ啓発キャンペーンを実施する。	・R3.4.1からR4.3.31までの期間、花咲徳栄高等学校を自転車マナーアップ推進校に指定(加須警察署) ・R3.10花咲徳栄高等学校の生徒を対象に、交通安全講習会を開催(加須警察署)	1 目標を達成	指標(単位)	自転車マナーアップ推進校における交通安全活動の実施回数 (回)						・引き続き、市内に所在する高校を対象に交通安全講習会を加須警察署において開催する。
					年度	2年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
					目標	1	1	1	1	1	1	
					実績	1	1					
					【評価の理由】 令和3年10月に花咲徳栄高等学校において、同校生徒対象に交通安全講習会を開催した。 なお、交通安全講習会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のためリモートで実施した。							
19	《再掲》高齢者を対象とした交通安全教室の実施(交通安全啓発事業) 交通防犯課	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。 【概要】 ・各季交通安全運動期間に交通安全の啓発を行う。 ・参加・実践型高齢者交通安全教室、子ども自転車運転免許事業、中学生対象の交通安全教室を実施する。 ・敬老会等各地域のイベントにおける交通安全啓発を実施する。	・例年、高齢者を対象に、参加・実践型の高齢者交通安全教室を開催開催していたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、実施を見合わせ、交通安全に関するチラシを送付。	6 コロナによる影響	指標(単位)	参加・実践型高齢者交通安全教室の参加者数 (人)						・参加者の募集方法や教室の実施内容などについて検討し、より多くの参加者を募集できるように改善する。
					年度	2年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
					目標	225	200	200	200	200	200	
					実績	0	0					
					【評価の理由】 例年、加須警察署、埼玉自動車学校、埼玉県防犯・交通安全課と連携を図りながら、参加・実践型高齢者交通安全教室を年4回開催しているが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を見合わせ、高齢者福祉課(現高齢介護課)が敬老会中止のお知らせを16,356人に送付する際に、高齢者の交通事故の特徴を踏まえた交通安全に関する啓発チラシを同封し、広く高齢者に交通安全啓発を行うことができた。その他、老人クラブ等の会合の際においても、交通安全啓発チラシを配布することができた。							

1 交通安全意識の向上

(2) 自転車安全利用の推進

②自転車安全利用の啓発

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	自転車安全利用のための啓発活動 (回)						
20	自転車安全利用の啓発（交通安全啓発事業）	【目的】 ・自転車利用者の交通ルールの徹底及び交通マナーの向上を図る。 ・自転車保険の加入促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 子ども自転車運転免許事業及び中学生交通安全教室実施 自転車の安全な利用についての関心と理解を深めるため、「自転車安全利用の日（毎月10日）」に広報啓発活動を行う。 九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間に合わせ啓発活動を行う。 	1 目標を達成	指標(単位)	自転車安全利用のための啓発活動 (回)						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、自転車安全利用の周知と自転車保険加入の促進を図る。
	交通防犯課	【概要】 ・各季交通安全運動期間に交通安全の啓発を行う。 ・参加・実践型高齢者交通安全教室、子ども自転車運転免許事業、中学生対象の交通安全教室を実施する。 ・敬老会等各地域のイベントにおける交通安全啓発を実施する			年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	—	12	12	12	12	12	
					実績	—	14					
					【評価の理由】 子ども自転車運転免許事業及び中学生交通安全教室を実施したほか、九都県市一斉自転車マナーアップ強化月間（6月）及び埼玉県自転車安全利用の日（5月以降毎月10日）に防災無線及び安全安心メールで啓発を行った。 また、6月25日の無事故キャンペーンに併せて、本庁舎エントランスで自転車安全利用の啓発活動を行った。							
21	自転車用ヘルメットの着用促進（交通安全啓発事業）	【目的】 ・自転車事故での市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 子ども自転車運転免許事業及び中学生交通安全教室実施 九都県市一斉「自転車マナーアップ強化月間」（5月）や各季交通安全運動を通じたヘルメット着用の啓発 	1 目標を達成	指標(単位)	自転車用ヘルメット着用の啓発回数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各種イベント等において、自転車乗車時のヘルメット着用の必要性を呼びかける。
	交通防犯課	【概要】 ・各季交通安全運動期間やイベント等において、自転車乗車時のヘルメット着用の必要性を呼びかける。			年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	—	4	4	4	4	4	
					実績	4	7					
					【評価の理由】 子ども自転車運転免許事業及び中学生交通安全教室や各季交通安全運動（全4回）で関係団体や市立小中学校と連携し、小中学生にヘルメットの着用について啓発することができた。また、自転車マナーアップ強化月間においても啓発することができた。							

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	自転車損害賠償保険加入の啓発回数 (回)						
22	自転車損害賠償保険の加入促進(交通安全啓発事業)	【目的】 自転車事故に伴う高額な賠償請求が増加していることから、自転車利用と自転車損害賠償保険への加入を促進する	<ul style="list-style-type: none"> 市ホームページや各季交通安全運動において自転車保険加入の促進 埼玉県自転車安全利用の日(毎月10日)に自転車保険の加入を促進 自転車保険に関するリーフレット等配布 	1 目 標 を 達 成	年度	2年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、自転車損害賠償保険の必要性について、各季交通安全運動や各種イベントにおいて周知し、加入促進を図る。 自転車保険に関するリーフレット等を窓口等で配布する。
	目標	—			4	4	4	4	4	4		
	交通防犯課	【概要】 <ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ等で自転車保険加入の啓発を行う。 加須市自転車の安全利用に関する条例の周知と合わせて、チラシ等により啓発を行う。 各季交通安全運動期間に交通安全の啓発を行う。 			【評価の理由】 市ホームページや交通安全運動期間中に自転車保険加入促進のPRを行った。 また、埼玉県自転車安全利用の日に安全安心メールを配信する際、併せて自転車保険の加入について促進を図った。 さらに、交通防犯課窓口等において、リーフレットの配布を行った。							
23	自転車安全利用指導員による立哨指導の実施(交通安全啓発事業、交通安全団体活動支援事業)	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 交通指導員兼自転車安全利用指導員による市内主要交差点等での立哨指導の実施 埼玉県自転車安全利用指導員研修会への参加 埼玉県自転車安全利用指導員たよりの配付 	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	自転車安全利用指導員による立哨指導の実施 (回)						<ul style="list-style-type: none"> 今後も引き続き、自転車利用者の交通マナーの向上を図る。
	年度	2年度			3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)			
	交通防犯課	【概要】 <ul style="list-style-type: none"> 自転車安全利用指導員による立哨指導を行う。 各季交通安全運動期間に交通安全の啓発を行う。 安全教室、子ども自転車運転免許事業、中学生対象の交通安全教室を実施する。 			【評価の理由】 交通指導員兼自転車安全利用指導員による市内主要交差点等での立哨指導を実施することが出来た。							
					目標	12	12	12	12	12	12	
					実績	12	12					

1 交通安全意識の向上

(3) 交通安全に関する普及啓発活動の推進

①交通安全運動の実施

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	交通安全運動の実施回数 (回)						
24	交通安全運動の実施（交通安全啓発事業、交通安全団体活動支援事業）	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	・春・夏・秋・冬の交通安全運動における街頭キャンペーン等を開催	1 目標を達成	指標(単位)	交通安全運動の実施回数 (回)						・加須警察署や関係団体と連携しながら、工夫をこらした街頭キャンペーンを実施し、効果的な交通安全啓発を実施する。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	—			4	4	4	4	4			
	実績	4			4							
交通安全防犯課	【概要】 ・関係機関及び関係団体と連携し、各季交通安全運動期間に交通安全の啓発を行う。 ・参加・実践型高齢者交通安全教室、子ども自転車運転免許事業、中学生対象の交通安全教室を実施する。 ・敬老会等各地域のイベントにおける交通安全啓発を実施する。	【評価の理由】 春・夏・秋・冬の交通安全運動の際に、各交通安全関係団体と協働し、街頭キャンペーンの開催や街頭での立哨活動、ホットメール配信による啓発など、様々な手法で市民に広く交通安全運動を展開することができた。										
25	メール配信等による交通安全の呼びかけ（かぞホットメール配信事業）	【目的】 交通安全運動の実施期間中に、かぞホットメール（安全安心情報）や防災行政無線を活用し、交通安全を呼びかける。	・春・夏・秋・冬の交通安全運動期間中の、かぞホットメール（安全安心情報）や防災行政無線を活用した交通安全の呼び掛けの実施	2 概ね達成	指標(単位)	交通安全運動期間中のメール配信回数 (回)						・各交通安全運動のほか、交通死亡事故が多発した際など、必要に応じてかぞホットメールの配信や防災行政無線の放送を実施する。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	12			12	12	12	12	12			
	実績	13			11							
交通安全防犯課	【概要】 かぞホットメール（安全安心情報）や防災行政無線を活用し、交通安全運動の実施について、広く周知するとともに、交通安全を呼びかける。	【評価の理由】 春・夏・秋・冬の交通安全運動の統一行動日等に合わせ、かぞホットメールと防災行政無線を活用し、交通安全を呼びかけた。										

1 交通安全意識の向上

(3) 交通安全に関する普及啓発活動の推進

②飲酒運転の根絶

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	飲酒運転根絶に関する周知・啓発回数 (回)							
				1 目 標 を 達 成	年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
26	飲酒運転根絶の周知・啓発 (交通安全啓発事業、かぞ ホッとメール 配信事業)	【目的】 市民が交通事故に遭うことな く、安全で安心して生活が送れ るようにするため、交通安全活 動を推進する。	・飲酒の機会が増える年 末等に 横断幕の設置、 啓発品の配布、メール 配信等による周知・啓発 を実施		指標(単位)	飲酒運転根絶に関する周知・啓発回数 (回)						・引き続き、飲酒運転根 絶のため市内各所へのぼ り旗による啓発やホッと メール等を活用した周 知・啓発を実施する。	
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
	目標	—			4	4	4	4	4				
	実績	2		5									
	交通防犯課	【概要】 ・各季交通安全運動期間等に交 通安全の啓発を行う。			【評価の理由】 飲酒運転根絶のため、横断幕を北下新井歩道橋に、のぼり旗を市内4 駅・道の駅（2箇所）に設置、また、かぞホッとメール配信による啓発を 行った。 さらに、2022まちばるポスターに飲酒運転根絶・ハンドルキーパーの ロゴを掲載し、また、市で作成したコースターを商工会員飲食店へ配布す るなど、加須市商工会と連携し、飲酒運転根絶の周知・啓発を行った。								

1 交通安全意識の向上

(3) 交通安全に関する普及啓発活動の推進

③歩行者優先と正しい横断の徹底

【評価】は6段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている、5 未着手、6 コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	横断歩道における歩行者優先の啓発看板等の設置数 (基)						
27	横断歩道における歩行者優先の啓発看板等の設置（交通安全啓発事業）	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	・信号機がない横断歩道などに歩行者優先の啓発看板を設置する。	2 概 ね 達 成	指標(単位)	横断歩道における歩行者優先の啓発看板等の設置数 (基)						・引き続き、信号機がない横断歩道付近に歩行者優先看板を設置し、ドライバーへ歩行者保護を呼びかける。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	—			10	10	10	10	10			
	実績	9			8							
交通防犯課	【概要】 ・信号機のない横断歩道に歩行者優先の啓発看板等の設置を行い、ドライバーに歩行者保護の呼びかけを行う。				【評価の理由】 ・信号機がない横断歩道付近に歩行者優先の啓発看板を設置し、ドライバーに対し、歩行者保護の啓発を行ったが目標を達成することができなかった。							

1 交通安全意識の向上

(3) 交通安全に関する普及啓発活動の推進

④夕暮れ時・夜間の交通事故防止対策の推進

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評 価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	早めのライト点灯のメール配信回数 (回)						
28	早めのライト点灯と反射材着用の呼びかけ(かぞホッとメール配信事業)	【目的】 交通安全運動の実施期間中に、かぞホッとメール(安全安心情報)や防災行政無線を活用し、交通安全を呼びかける。	・日の入り時間が早くなる 10月から2月にかけて、かぞホッとメールや防災行政無線を活用し、早めのライト点灯と反射材着用の周知を行う。	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	早めのライト点灯のメール配信回数 (回)						・引き続き、かぞホッとメールや防災行政無線を活用し、早めのライト点灯と反射材着用の周知を行う。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	—			5	5	5	5	5			
	実績	—			5							
交通防犯課	【概要】 かぞホッとメール(安全安心情報)や防災行政無線を活用し、交通安全を呼びかける。				【評価の理由】 ・日の入り時間が早くなる10月から2月にかけて、かぞホッとメールや防災行政無線を活用し、早めのライト点灯と反射材着用の周知を行うことができた。							

1 交通安全意識の向上

(3) 交通安全に関する普及啓発活動の推進

⑤危険運転、迷惑運転等の防止

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	交通安全啓発横断幕の設置数 (箇所)							
				1 目 標 を 達 成	年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
29	危険運転・迷惑運転等防止の呼びかけ (交通安全啓発事業)	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 市内各所の歩道橋等に交通安全啓発の横断幕を設置する。 北川辺西小前 危険！運転中のわき見・スマホ 昭和歩道橋 「あおり」運転はやめましょう 大利根わらべ保育園前 飲酒運転の根絶！！ 鴻巣小南歩道橋 夕暮れは危険！早めのライト点灯 命より大事なものは無いんだよ 新田歩道橋 スピード抑えて事故はなし 		目標	—	4	4	4	4	4	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、危険運転、迷惑運転等の要因となる行為を防止するため、市内各所の歩道橋等に交通安全啓発の横断幕を設置し、ドライバーに対し啓発する。 	
	交通防犯課	【概要】 ・幹線道路等に横断幕を設置し、広くドライバーに対し、危険運転・迷惑運転等防止啓発を行う。			実績	6	6						

1 交通安全意識の向上

(3) 交通安全に関する普及啓発活動の推進

⑥シートベルト及びチャイルドシートの着用等の徹底

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の実施内容等	
					指標(単位)	シートベルト及びチャイルドシートの着用に関する周知箇所数 (箇所)							
				1 目標を 達成	年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
30	シートベルト 及びチャイル ドシートの正 しい着用に関 する周知（交 通安全啓発事 業）	【目的】 市民が交通事故に遭うことな く、安全で安心して生活が送れ るようにするため、交通安全活 動を推進する。	・子ども局等において、 シートベルト及びチャイ ルドシート着用の推進を 図る。		指標(単位)	シートベルト及びチャイルドシートの着用に関する周知箇所数 (箇所)							・シートベルト及びチャ イルドシート着用徹底の ため、効果的な周知方法 を検討し、実施してい く。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
	目標	—			4	4	4	4	4				
	実績	4		4									
	交通防犯課	【概要】 ・子育て世代を中心に、シート ベルト及びチャイルドシートの 正しい着用に関する周知を行 う。			【評価の理由】 こども局、本庁舎交通防犯課、各支所地域振興課窓口において、シートベ ルト及びチャイルドシート着用に関するチラシ及び啓発品の配布を行っ た。								

1 交通安全意識の向上

(3) 交通安全に関する普及啓発活動の推進

⑧交通安全関係団体の主体的活動の促進

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	交通指導員活動延べ人数 (人)						
32	交通指導員協議会の活動支援（交通安全団体活動支援事業）	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を行う団体を支援する。	・交通指導員による市内主要交差点等における立哨活動等の支援	2 概ね 達成	指標(単位)	交通指導員活動延べ人数 (人)						・引き続き、市内主要交差点等における立哨活動等の支援を行う。また、交通指導員の派遣申請の対応については、精査し、交通指導員の活動を行う。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	6,431			6,431	6,341	6,341	6,341	6,341			
	実績	5,760			5,742							
交通防犯課	【概要】 ・交通指導員協議会、交通安全母の会、交通安全協会等の円滑な活動を支援するため、補助金を交付するほか、交通指導員の報酬等の支給及び制服の貸与をする。			【評価の理由】 朝の学童指導や薄暮時街頭指導等、市内の主要交差点での立哨活動を実施した。								
33	交通安全母の会の活動支援（交通安全団体活動支援事業）	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を行う団体を支援する。	・交通安全母の会による交通安全教室や朝の学童指導、車両広報による交通安全の呼びかけ活動等の支援 ・各支部での交通安全啓発活動の実施 加須：新入学児童への啓発品配布 騎西：横断幕設置による啓発の実施及び新入学児童への啓発品配布 北川辺：新入学児童への啓発品配布 大利根：新入学児童への啓発品配布	1 目標 を 達成	指標(単位)	交通安全教育・啓発活動等延べ日数 (日)						・交通安全母の会の活動について、役員会等で協議し、効果的な交通安全啓発活動を実施する。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	—			80	80	80	80	80			
	実績	106			80							
交通防犯課	【概要】 ・交通指導員協議会、交通安全母の会、交通安全協会等の円滑な活動を支援するため、補助金を交付するほか、交通指導員の報酬等の支給及び制服の貸与をする。			【評価の理由】 各支部での交通安全啓発活動のほか、各季交通安全運動における朝の学童指導や子ども自転車運転免許事業など、主に子どもに対する交通安全啓発を実施した。								

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	交通安全協会活動延べ人数 (人)						
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	2,200	
					実績	1,592	2,150					
34	交通安全協会の活動支援 (交通安全団体活動支援事業)	【目的】 市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を行う団体を支援する。	<ul style="list-style-type: none"> 各季交通安全運動における薄暮時の街頭指導や車両広報の実施 道路反射鏡の清掃活動の実施 	2 概 ね 達 成	【評価の理由】 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、活動規模を縮小したものの、各季交通安全運動の際に、薄暮時の街頭指導や車両広報などを実施した。また、道路反射鏡清掃を実施した。							<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、各季交通安全運動における薄暮時の街頭指導や車両広報、道路反射鏡の清掃活動を実施する。また、道路反射鏡の清掃において、不具合等発見した場合は、適宜修繕対応等行う。
	交通防犯課	【概要】 ・交通指導員協議会、交通安全母の会、交通安全協会等の円滑な活動を支援するため、補助金を交付するほか、交通指導員の報酬等の支給及び制服の貸与をする										

1 交通安全意識の向上

(4) 交通秩序の維持

①交通指導取締りの強化

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	市民等からの交通指導取締り要請対応率 (%)						
35	交通指導取締りの強化（交通安全啓発事業）	【目的】 ・市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	・市民等からの交通指導取締りや信号機・横断歩道の設置要望等について、加須警察署に要請した。	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	市民等からの交通指導取締り要請対応率 (%)						・引き続き、市民等から交通指導取締り等や信号機・横断歩道の設置要望等について、加須警察署に要請していく。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	100			100	100	100	100	100			
	実績	100			100							
交通防犯課	【概要】 歩行者及び自転車利用者の交通事故防止と交通事故多発路線等における重大事故を防止するため、加須警察署へ交通指導取締りの強化を要請する。				【評価の理由】 市民等からの交通指導取締り等の要請に基づき、全て加須警察署へ連絡・要請を行った。							

1 交通安全意識の向上

(4) 交通秩序の維持

②違法駐車防止・取締り

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の実績内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	市民等からの駐車違反取締り要請対応率 (%)						
36	駐車違反の防止・取締り (交通安全啓発事業)	【目的】 ・市民が交通事故に遭うことなく、安全で安心して生活が送れるようにするため、交通安全活動を推進する。	・市民等から駐車違反取締り要望があった場合、加須警察署に要請した。その他、駐車禁止看板により注意喚起を行った。	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	市民等からの駐車違反取締り要請対応率 (%)						・市民等から駐車違反取締り要望があった場合、加須警察署に要請していく。また、状況により注意喚起等行っていく。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	—	100	100	100	100	100	
					実績	100	100					
	交通防犯課	【概要】 歩行者及び自転車利用者の交通事故防止と交通事故多発路線等における重大事故を防止するため、加須警察署へ駐車違反の防止・取締り強化を要請する。			【評価の理由】 ・市民等から駐車違反取締り要望があったものについて、全て加須警察署に要請した。							

第2次加須市交通安全計画 進行管理調書（実施状況報告書）

2 交通環境の整備

(1) 地域の実態等を踏まえた交通安全対策の推進

①交通事故多発箇所等の交通安全対策

【評価】は6段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている、5 未着手、6 コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	道路交通環境安全推進連絡会議で協議した交通事故多発箇所における交通安全対策工事の実施率 (%)						
38	交通事故多発箇所等における交通安全対策（交通安全施設整備事業） 交通防犯課	【目的】 市民が交通事故に遭わないようにするため、交通安全施設の整備を図る。また、交通事故の防止を図るため、緊急に通行の安全を確保する必要性の高い危険箇所について緊急対策としての局部的かつ応急的な工事を実施 【概要】 事故多発箇所や死亡事故発生箇所については、加須警察、行田県土、庁内関係各課で構成されている加須市道路交通環境安全推進連絡会議に諮り、交通安全対策を実施する。	・道路交通環境安全推進連絡会議で交通事故多発箇所等の交通安全対策について協議を行い、関係機関と連携を図りながら交通安全対策工事を実施した。	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	道路交通環境安全推進連絡会議で協議した交通事故多発箇所における交通安全対策工事の実施率 (%)						
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	—	100	100	100	100	100	
					実績	100	100					
					【評価の理由】 R3.12.16書面開催の加須市道路交通環境安全推進連絡会議で協議した12箇所の交通安全対策工事を全て実施した。							

2 交通環境の整備

(1) 地域の実態等を踏まえた交通安全対策の推進

②地域と一体となった交通環境整備の推進

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	自治協力団体からの設置要望箇所のうち、危険箇所における施設の整備率 (%)						
39	自治協力団体からの要望を活用した交通安全施設の整備（交通安全施設整備事業） 交通防犯課	【目的】 市民が交通事故に遭わないようにするため、交通安全施設の整備を図る。また、交通事故の防止を図るため、緊急に通行の安全を確保する必要性の高い危険箇所について緊急対策としての局部的かつ応急的な工事を実施	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に応じた交通安全施設（道路照明灯、道路反射鏡、路面標示）の整備を図るため、自治協力団体からの要望を活用し、優先性を考慮し交通安全施設の整備を行った。 	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	自治協力団体からの設置要望箇所のうち、危険箇所における施設の整備率 (%)						<ul style="list-style-type: none"> ・自治協力団体の要望等に基づく道路反射鏡や路面標示等の交通安全施設工事を実施する。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	—	100	100	100	100	100	
					実績	100	100					
					【評価の理由】 自治協力団体からの設置要望箇所のうち、危険箇所における施設の整備を全て実施した。							

2 交通環境の整備

(1) 地域の実態等を踏まえた交通安全対策の推進

③道路等の維持管理対策

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	情報提供に対する対応率 (%)							
40	安心安全に通 行できる道路 の維持管理 (道路維持管 理事業)	【目的】 安全で快適な道路環境を作 るため、加須市管理道路の 維持を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 道路パトロールによる 日常点検及び修繕の実施 市民等からの情報提供 による破損箇所への修繕 の実施 「市報かぞ」に情報提 供お願いを掲載 	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	情報提供に対する対応率 (%)						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、市民等から の情報提供について、適 切に対応する。 	
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
	目標	—			100	100	100	100	100				
	実績	100			100								
道路課	【概要】 道路パトロール、自治会や 市民からの通報に基づき、 直ちに修繕を行う。	【評価の理由】 情報提供を受けた箇所等について、対応できた。											
41	良好な沿道環 境の確保(街 路樹維持管 理事業)		【目的】 街路樹を適切に管理し、 「安心・安全」および「良 好な沿道環境」の確保を図 る。	<ul style="list-style-type: none"> 通行の安全を確保する ため市方針による剪定等 の実施 市民、通行人からの連 絡や警察からの要請を受 けた箇所への剪定等の実 施 	2 概 ね 達 成	指標(単位)	改善する交差点数 ※問題となる交差点 53 箇所 (箇所)						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、通行の安全を確 保するため市方針による 剪定等や市民等から情報 提供を受けながら適切に 対応する。
						年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標		—			20	28	36	44	53			
	実績	13	18										
道路課	【概要】 街路樹の樹形調整及び樹勢 維持のために、適切な時 期・方法で剪定や薬剤散布 を実施する。	【評価の理由】 令和元年9月2日に策定した「街路樹維持管理の方針」に従い、交差点 や支道との交差点付近の視距を確保するたる、交差点の曲線部分や隅切り の終点から3m以内に植えられた53箇所の中高木のうち、18箇所の改善 を図った。											

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	情報提供に対する対応率 (%)						
42	市民・民間企業等との協働による道路等の維持管理（道路・公園等ウォッチャー事業） まちづくり課	【目的】 公共施設利用者の安全性の向上を図る。 【概要】 市民には市報かそで、民間企業等には依頼文で、市職員には依頼文をグループウェアに掲載することで、道路・水路・公園・駅前広場などの公共施設の損傷箇所や危険箇所の情報提供を依頼する。寄せられた情報を取りまとめ、各施設の所管課で速やかに修繕等の対応を行う。	・市民・民間企業等関係機関・市職員から寄せられた情報を基に、各施設の所管課で速やかに修繕等の対応を行った。 【情報提供の依頼】 ・広報かそへの掲載（令和3年5月号、令和3年10月号）	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	情報提供に対する対応率 (%)						・情報提供を依頼する民間企業等を増加させ、より多くの情報を収集できるようにする。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	—	100	100	100	100	100	
					実績	100	100					
					【評価の理由】 令和3年度の危険箇所情報提供（道路・水路・公園・駅前広場・防犯灯等）1,234件について、現場を全件確認し、必要に応じて修繕等を行った。							

2 交通環境の整備

(1) 地域の実態等を踏まえた交通安全対策の推進

④道路改良等に伴う交通安全施設の整備

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	自治会要望実施路線数 (箇所)						
43	生活道路の拡 幅整備（生活 道路新設改良 事業）	【目的】 幹線道路等への円滑なアク セスの確保、日常生活にお ける生活道路の安全性及び 交通の利便性の向上を図 る。	・生活道路の新設改良工 事に併せて交通安全施設 の整備を行った。 (事業路線：9路線)	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	自治会要望実施路線数 (箇所)						・自治会等からの要望に ついて「生活道路整備事 業評価システム」により 評価し事業化する。な お、事業期間が長期とな るため、必要に応じて、 応急的に待避所等を設置 し、利便性の向上を図 る。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	—			5	5	5	5	5			
	実績	8			9							
道路課	【概要】 生活道路のうち、交通安全 上危険な箇所及び自治会等 からの要望が出された路線 について「生活道路整備事 業評価システム」により評 価し事業化する。	【評価の理由】 ・新規事業3路線を含めた9路線について事業を実施し、目標を達成し た。このうち事業が完成した2路線以外は継続事業であり、引き続き交通 事故防止と交通の円滑化のため交通安全施設の整備を行っていく。										
44	幹線道路の計 画的な拡幅整 備（幹線道路 新設改良事 業）	【目的】 国県道とのネットワークを 構築し、円滑な交通誘導に より、交通事故の防止に寄 与する。また、渋滞緩和に より環境への負荷を顕現さ せる。	・幹線道路の新設改良工 事に併せて交通安全施設 の整備を行った。 (拡幅整備実施路線数： 5路線、交差点改良等： 4箇所)	2 概 ね 達 成	指標(単位)	加須市道路網整備計画に基づく整備延長 (m)						・今後も国、県の補助金 等を有効活用し、計画的 に実施する。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	—			668	717	947	946	932			
	実績	407			580							
道路課	【概要】 「加須市道路網整備計画」 において整備計画路線とし て位置付けた幹線1・2級 市道の整備を行う。	【評価の理由】 ・国県道を補完する幹線道路を整備することにより、市内交通の利便性を 高め快適な生活環境の向上が図られ、目標値を概ね達成することができ た。										

2 交通環境の整備

(1) 地域の実態等を踏まえた交通安全対策の推進

⑤交通環境のバリアフリー化の推進

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実施内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の実施内容等
					指標(単位)	自治会要望実施路線数 (箇所)						
45	(再掲)生活 道路の拡幅整 備(生活道路 新設改良事 業) 道路課	【目的】 幹線道路等への円滑なアク セスの確保、日常生活にお ける生活道路の安全性及び 交通の利便性の向上を図 る。 【概要】 生活道路のうち、交通安全 上危険な箇所及び自治会等 からの要望が出された路線 について「生活道路整備事 業評価システム」により評 価し事業化する。	・生活道路の新設改良工 事に併せて交通安全施設 の整備を行った。 (事業路線：9路線)	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	自治会要望実施路線数 (箇所)						
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	—	5	5	5	5	5	
					実績	8	9					
					【評価の理由】 ・新規事業3路線を含めた9路線について事業を実施し、目標を達成し た。このうち事業が完成した2路線以外は継続事業であり、引続き交通事 故防止と交通の円滑化のため交通安全施設の整備を行っていく。							
					・自治会等からの要望に ついて「生活道路整備事 業評価システム」により 評価し事業化する。な お、事業期間が長期とな るため、必要に応じて、 応急的に待避所等を設置 し、利便性の向上を図 る。							

2 交通環境の整備

(1) 地域の実態等を踏まえた交通安全対策の推進

⑥道路側溝の整備による交通安全対策

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	(m)						
46	生活道路の蓋なし側溝の蓋架け工事（生活道路側溝事業）	【目的】 生活道路側溝のうち蓋が無い危険な箇所へ蓋を架け、自転車や歩行者の交通安全確保を図る。	・自治会要望箇所への蓋架けを市職員による直営作業で実施した。 ・工事に伴い、U字溝から蓋のある製品に取り換えた。	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	蓋なし側溝に対する年間蓋架け延長 (m) ※蓋なし側溝延長 左 55.3 km・右 52.2 km (R3.4.1現在)						・引き続き、工事や自治会等から要望を受けた箇所へ蓋架けを実施する。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	50			50	50	50	50	50			
	実績	67			411.7							
道路課	【概要】 交通安全上危険な箇所及び自治会等からの要望が出され蓋架けの必要な箇所について蓋架けを実施する。				【評価の理由】 ・自治会から要望を受けた箇所へ蓋架けを実施することができた。 ・工事に伴い、U字溝から蓋のある製品に取り換えた。							
47	幹線道路の蓋なし側溝の蓋架け工事（幹線道路側溝事業）	【目的】 幹線道路側溝のうち蓋が無い危険な箇所へ蓋を架け、自転車や歩行者の交通安全確保を図る。	・工事に伴い、U字溝から蓋のある製品に取り換えた。	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	蓋なし側溝に対する年間蓋架け延長 (m) ※蓋なし側溝延長 左9.1km・右7.2km (R3.4.1現在)						・引き続き、工事や自治会等から要望を受けた箇所へ蓋架けを実施する。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	50			50	50	50	50	50			
	実績	161.6			235.08							
道路課	【概要】 交通安全上危険な箇所及び自治会等からの要望が出された路線について、検証し事業化する。また、蓋架けの必要な箇所について直営作業等により蓋架けを実施する。				【評価の理由】 ・工事に伴い、U字溝から蓋のある製品に取り換えた。							

2 交通環境の整備

(1) 地域の実態等を踏まえた交通安全対策の推進

⑦水害・震災等に備えた交通環境の整備

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	橋りょう長寿命化実施累計数 (橋)						
48	安全に通行できる橋りょうの維持管理 (橋りょう維持改良事業) 道路課	【目的】 市民が安全で安心して通行できる道路橋を確保するため、橋りょうの長寿命化と耐震化を実施することにより、防災のまちづくりの実現を図る。 【概要】 平成31年3月に策定された「加須市橋りょう長寿命化修繕計画」に位置付けられた1095橋の進捗を図る。	<ul style="list-style-type: none"> 橋りょう点検：208橋（委託97橋・職員111橋） 長寿命化工事：2橋 長寿命化設計委託：2橋 	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	橋りょう長寿命化実施累計数 (橋)						<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、平成31年3月に策定した「加須市橋りょう長寿命化修繕計画」に基づき修繕等を進めていく。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	4	6	8	10	12	14	
					実績	4	6					
【評価の理由】												
<ul style="list-style-type: none"> 主要な橋りょうの長寿命化工事を実施し、通行の安全性が図られた。 長寿命化設計委託：2橋 長寿命化工事：2橋 												

2 交通環境の整備

(1) 地域の実態等を踏まえた交通安全対策の推進

⑧公共交通の維持・充実

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	コミュニティバス「かぞ絆号」の1日当たり平均利用者 (人)						
49	コミュニティバスの運行 (コミュニティバス運行事業) 政策調整課	【目的】コミュニティバス運行の推進により、自家用自動車の利用抑制を促進する。 【概要】市全域を運行エリアとして、デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの3つの運行方式によるコミュニティバスを運行する。	<ul style="list-style-type: none"> ・デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの3つの運行方式でコミュニティバス「かぞ絆号」を運行し、病院・公共施設等への移動手段の確保や、公共交通不便地域の解消を図った。 ・令和4年6月の済生会加須病院開院を見据えて、令和4年1月にシャトルバスの運行ルートを変更し、デマンド型乗合タクシーを中エリアと南エリアに1台ずつ合計2台増車した。 	3 やや遅れている	指標(単位)	コミュニティバス「かぞ絆号」の1日当たり平均利用者 (人)						コミュニティバス「かぞ絆号」の更なる運行改善を図るとともに、令和4年6月の済生会加須病院の開院にあわせて、デマンド型乗合タクシー・シャトルバス・循環バスの3つの運行方式全て病院への乗入れを開始する。 地域でコミュニティバスの説明会を実施し、利用促進を図る。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	250	250	270	270	270	270	
					実績	150.2	171.0					
50	公共交通の輸送力の増強の促進（鉄道輸送力増強等促進事業） 政策調整課	【目的】市民が、安全・便利・快適に移動できるよう、公共交通の維持・充実を図る。 【概要】公共交通の関係機関に対し、輸送力の増強及び維持について要望を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ○鉄道要望の実施 ・東武鉄道（県取りまとめ） ・JR新幹線久喜駅設置要望（協議会） ・東武鉄道輸送力増強（協議会） ・地下鉄7号線延伸要望（協議会） 	2 概ね達成	指標(単位)	年間要望回数 (回)						<ul style="list-style-type: none"> ・公共交通の充実を図るためには、利用者の増加も必要であることから、自転車や徒歩駅まで行き、そこから公共交通を利用する『パークアンドライド』の推進や地元自治会への利用促進を呼びかけ、路線維持を図る。 また、公共交通事業者に対し、更なる利便性の向上について、継続的に要望を行う。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	5	5	5	5	5	5	
					実績	5	4					
					【評価の理由】 デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの3つの運行方式により、病院や公共施設等への移動手段の確保や交通不便地域の解消を図ることができたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、目標を達成することができなかった。							
					【評価の理由】 デマンド型乗合タクシー、シャトルバス、循環バスの3つの運行方式により、病院や公共施設等への移動手段の確保や交通不便地域の解消を図ることができたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響もあり、目標を達成することができなかった。							
					【評価の理由】 協議会や埼玉県交通政策課を通じて、公共交通関係機関及び国の関係機関に対し、要望を実施し、公共交通の輸送力増強及び維持を図ることができた。							

2 交通環境の整備

(2) 歩行者や自転車利用者の通行空間の確保

①通学路等の交通安全対策

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)							
51	通学路の安全 対策工事の実 施（通学路安 全対策事業） 学校教育課	【目的】 市内の子どもたちの安心・安全 の確保のため、登下校におい て、事故やけがなどによる負傷 を避け、安全に登下校できるよ う、速やかな対応による通学路 環境の改善を目指す。	・市立全小・中学校にお いて、通学路安全点検を 実施し、危険箇所を把握 した。各校から提出され た危険箇所をすべて確認 し、一覧表にまとめた。	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	通学路の安全対策工事の実施率 (%)						
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	—	100	100	100	100	100	
					実績	100	100					
【評価の理由】 各学校から挙げられた危険箇所について、全ての箇所を確認した。 特に危険で対応が必要な箇所については、関係各課や県土整備事務所、加 須警察署と連携して対応することができた。												
52	未就学児等が日 常的に集団で移 動する経路の安 全対策（公立保育所 管理運営事業 民間保育所運営委託事 業 幼稚園管理運営事業 民間認定こども園・幼 稚園等給付費支給事 業） こども保育課	【目的】 未就学児が日常的に集団で利用 する経路における児童の交通安 全を確保する。	・市内保育所及び認定こ ども園等へ未就学児が日 常的に集団で利用する経 路にかかる点検の実施及 び点検票の提出を依頼 し、取りまとめた上、埼 玉県行田県土整備事務所 へ提出した。	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	保育園・幼稚園等が日常的に集団で移動する経路の危険箇 所安全対策実施率 (%)						
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	—	100	100	100	100	100	
					実績	—	100					
【評価の理由】 市内保育所及び認定こども園等の点検の結果、情報提供を受けた箇所等につ いて、安全対策等の対応ができた。												

・各学校から危険箇所について改善要望が提出された時点で適宜対応していく。
・関係各課との連携、協力を得て、多くの危険箇所について安全対策を行う。

・引き続き、点検結果について、適切に対応する。

2 交通環境の整備

(2) 歩行者や自転車利用者の通行空間の確保

②生活道路等における交通安全対策

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	既存自転車歩行者道路の改修路線数 (路線)						
				1 目標を 達成	年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
53	自転車歩行者 道の整備（自 転車歩行者道 整備事業）	【目的】 自転車の利便性を推進し、自転車の 交通安全を確保するため、自転車歩 行者道の整備、既存道路を利用した 自転車通行帯の整備など、快適な自 転車生活を支援する。	・自転車や歩行者の通行 の安全確保のため、自転 車歩行者道の舗装修繕や 段差解消などを実施し た。		1 目標を 達成	指標(単位)	既存自転車歩行者道路の改修路線数 (路線)					
	道路課	【概要】 道路パトロールを実施し、不備な箇 所について、その都度補修、修繕を 実施する。 また、自転車歩行者道の舗装修繕や 段差解消などを実施し、自転車通行 環境を整備する。	・加須地域の4地区（向 川岸町、大門町、不動 岡、諏訪）でゾーン30 を実施	年度		2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					【評価の理由】	・4路線について段差解消などの改修を行った。						
54	生活道路にお ける交通安全 対策（交通安 全施設整備事 業）	【目的】 市民が交通事故に遭わないよう にするため、交通安全施設の整 備を図る。また、交通事故の防 止を図るため、緊急に通行の安 全を確保する必要性の高い危険 箇所について緊急対策としての 局部的かつ応急的な工事を実施	・加須地域の4地区（向 川岸町、大門町、不動 岡、諏訪）でゾーン30 を実施	1 目標を 達成	指標(単位)	ゾーン30施行地区の累計 (地区)						・ゾーン30地区につい て、加須警察署と連携 し、事故発生件数などか ら整備効果を検証し、必 要に応じて更なる対策を 実施する。
	交通防犯課	【概要】 歩行者と自転車の交通の安全を 確保するため、生活道路にお ける交通安全対策を実施する。	・加須地域の4地区（向 川岸町、大門町、不動 岡、諏訪）でゾーン30 を実施している。		年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					【評価の理由】	加須地域の4地区（向川岸町、大門町、不動岡、諏訪）でゾーン30を実施している。						

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	点検・情報提供に対する対応率 (%)						
55	駅前広場利用者の安全確保 (駅前広場維持管理事業)	【目的】駅前広場利用者の安全性を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・樹木の剪定・刈込や除草を行う。 ・トイレや広場の清掃を行う。 ・目視による点検を行う。 ・点検や情報提供に対して速やかに対応する。 	1 目標を達成	指標(単位)	点検・情報提供に対する対応率 (%)						<ul style="list-style-type: none"> ・安全性の確保のため適切な維持管理に努める。関係課と協力しながら放置自転車対策を行う。
	まちづくり課	【概要】駅前広場を安全かつ快適に利用できるよう、樹木の剪定、除草、トイレ等の清掃や点検を行う。			年度	2年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
					目標	—	100	100	100	100	100	
					実績	100	100					
					【評価の理由】 点検結果や情報提供に対して速やかに対応できた。 樹木の剪定や刈込を行うことで、駅前広場の見通しを良くした。 タクシー・バトカー待機所と市民のための送迎車両待機所を分けて設置したことにより、安全性の向上ができた。							
56	水路の転落防止対策(会の川整備支援事業)	【目的】会の川転落防止柵整備を行い、自転車と歩行者の交通安全を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地元からの早期のフェンス更新要望があったため、当初予算で対応できた。 	1 目標を達成	指標(単位)	会の川に設置されている転落防止柵を計画に基づき更新した累計延長 ※計画延長 1,950m (m)						<ul style="list-style-type: none"> ・地元自治会からも早期のフェンス更新要望を受けており、計画延長2km弱と長いいため計画的に事業を進める。
	治水課	【概要】会の川沿道路において、近年分譲住宅の増加により自動車の通行量が増え、自転車や歩行者の転落防止のために、老朽化が進んでいるフェンス更新工事を行っている。			年度	2年度	3年度(決算)	4年度	5年度	6年度	7年度(目標年)	
					目標	600	700	800	900	1,000	1,100	
					実績	681	801					
					【評価の理由】 フェンス更新工事の目標距離が達成できた。引き続き工事を進めていく。							

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	点検・情報提供に対する対応率 (%)						
57	市管理水路の 維持管理（市 街地排水路維 持管理事業）	【目的】 市街化区域を流れる市管理水路 の安全性を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> 地元要望やウォッチャー事業等で発見された水路の破損・危険箇所に対し、早急に水路修繕を実施した。 	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	点検・情報提供に対する対応率 (%)						<ul style="list-style-type: none"> 地元要望やウォッチャー事業等で発見された水路の破損・危険箇所に対し、早急に水路修繕を実施するとともに、引き続き、職員による点検を行い、維持管理に努める。
	治水課	【概要】 市街化区域内を流れる市管理水 路の維持管理を行う。			年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	100	100	100	100	100	100	
					実績	100	100					
					【評価の理由】 地元要望やウォッチャー事業等で発見された水路の破損・危険箇所に対し、早急に水路修繕を実施して、目標を達成した。引き続き随時対応していく。							
58	（再掲）生活 道路の拡幅整 備（生活道路 新設改良事 業）	【目的】 幹線道路等への円滑なアク セスの確保、日常生活にお ける生活道路の安全性及び 交通の利便性の向上を図 る。	<ul style="list-style-type: none"> 生活道路の新設改良工事に併せて交通安全施設の整備を行った。（事業路線：9路線） 	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	自治会要望実施路線数 (箇所)						<ul style="list-style-type: none"> 自治会等からの要望について「生活道路整備事業評価システム」により評価し事業化する。なお、事業期間が長期となるため、必要に応じて、応急的に待避所等を設置し、利便性の向上を図る。
	道路課	【概要】 生活道路のうち、交通安全 上危険な箇所及び自治会等 からの要望が出された路線 について「生活道路整備事 業評価システム」により評 価し事業化する。			年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	—	5	5	5	5	5	
					実績	8	9					
					【評価の理由】 新規事業3路線を含めた9路線について事業を実施し、目標を達成した。このうち事業が完成した2路線以外は継続事業であり、引続き交通事故防止と交通の円滑化のため交通安全施設の整備を行っていく。							

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	加須市道路網整備計画に基づく整備延長 (m)						
59	(再掲) 幹線道路の計画的な拡幅整備 (幹線道路新設改良事業)	【目的】 国県道とのネットワークを構築し、円滑な交通誘導により、交通事故の防止に寄与する。また、渋滞緩和により環境への負荷を顕現させる。	<ul style="list-style-type: none"> ・幹線道路の新設改良工事に併せて交通安全施設の整備を行った。 (拡幅整備実施路線数：5路線、交差点改良等：4箇所) 	2 概 ね 順 調	年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も国、県の補助金等を有効活用し、計画的に実施する。
	目標	—			668	717	947	946	932			
	道路課	【概要】 「加須市道路網整備計画」において整備計画路線として位置付けた幹線1・2級市道の整備を行う。			【評価の理由】 ・国県道を補完する幹線道路を整備することにより、市内交通の利便性を高め快適な生活環境の向上が図られ、目標値を概ね達成することができた。							
60	(再掲) 生活道路の蓋なし側溝の蓋架け工事 (生活道路側溝事業)	【目的】 生活道路側溝のうち蓋が無い危険な箇所へ蓋を架け、自転車や歩行者の交通安全確保を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会要望箇所への蓋架けを市職員による直営作業で実施した。 ・工事に伴い、U字溝から蓋のある製品に取り換えた。 	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	蓋なし側溝に対する年間蓋架け延長 (m) ※蓋なし側溝延長 左 55.3 km・右 52.2 km (R3.4.1現在)						<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、工事や自治会等から要望を受けた箇所へ蓋架けを実施する。
	年度	2年度			3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
	道路課	【概要】 交通安全上危険な箇所及び自治会等からの要望が出され蓋架けの必要な箇所について蓋架けを実施する。			目標	50	50	50	50	50	50	
					実績	67	411.7					【評価の理由】 ・自治会から要望を受けた箇所へ蓋架けを実施することができた。 ・工事に伴い、U字溝から蓋のある製品に取り換えた。

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	蓋なし側溝に対する年間蓋架け延長 ※蓋なし側溝延長 左9.1km・右7.2km (R3.4.1現在) (m)						
61	道路課	【目的】 幹線道路側溝のうち蓋が無い危険な箇所 に蓋を架け、自転車や歩行者の交通安全確保を図る。	・工事に伴い、U字溝から蓋のある製品に取り換えた。	1 目 標 を 達 成	年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	・引き続き、工事や自治会等から要望を受けた箇所へ蓋架けを実施する。
					目標	50	50	50	50	50		
					実績	161.6	235.08					
					【評価の理由】	・工事に伴い、U字溝から蓋のある製品に取り換えた。						

2 交通環境の整備

(2) 歩行者や自転車利用者の通行空間の確保

③駅周辺の交通安全対策

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の実績内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	放置自転車の指導、整理延べ時間 (時間)						
62	放置自転車整理区域内等における放置自転車対策（放置自転車対策事業）	【目的】 駅周辺の環境整備と歩行者の交通の安全を確保するため、自転車放置整理区域内等に自転車を放置されないよう監視・指導・整理を行う。	・自転車放置整理区域内の放置自転車の監視、指導、整理業務委託を実施	2 概ね達成	指標(単位)	放置自転車の指導、整理延べ時間 (時間)						<ul style="list-style-type: none"> ・啓発看板や警告方法を工夫し、放置抑止を図る。 ・放置自転車の動向を注視し、放置自転車の効率的な減少方法等を検討する。当面は、警告シールによる指導回数を増やして放置抑止に努める。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	660			794	794	794	794	794			
	実績	790			753							
交通防犯課	【概要】 ・自転車放置整理区域内の放置自転車の監視、指導、整理業務の委託を行う。	【評価の理由】 駅周辺の放置自転車の監視・指導・整理を実施したことにより、放置自転車が減少し、歩行者の交通の安全が確保できた。										
63	放置自転車整理区域内等における放置自転車の撤去（放置自転車対策事業）	【目的】 駅周辺の環境整備と歩行者の交通の安全を確保するため、自転車放置整理区域内等に放置された自転車を撤去する。	・駅前放置自転車撤去を4回実施 (6/8、10/5、12/2、1/25) ・放置自転車撤去・移送業務委託を実施	1 目標を達成	指標(単位)	放置自転車撤去台数 (台)						<ul style="list-style-type: none"> ・啓発看板や警告方法を工夫し、放置抑止を図る。 ・放置自転車の動向を注視し、放置自転車の効率的な減少方法等を検討する。当面は、警告シールによる指導回数を増やして放置抑止に努める。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	200			70	70	70	70	70			
	実績	55			27							
交通防犯課	【概要】 ・放置自転車の撤去、運搬、処分業務の委託等を行う。	【評価の理由】 駅周辺を定期的に巡回し、警告シールによる指導回数を増やしたことにより、放置自転車が大幅に減少した。										

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	花崎駅北口西自転車駐車場の延べ利用者数 (人)						
64	自転車駐車場の利用促進 (放置自転車対策事業)	【目的】 駅周辺の環境整備と歩行者の交通の安全を確保するため、自転車駐車場の利用を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> 花崎駅北口西有料自転車駐車場運営業務（月：1,200円、2段ラック式：374台） 花崎駅北口西自転車駐車場の利用について市ホームページや広報紙に掲載 放置自転車の監視、指導、整理業務委託を実施 放置自転車に対し警告シールによる指導や撤去を実施 	2 概 ね 達 成	年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	<ul style="list-style-type: none"> 花崎駅北口西自転車駐車場の利用について市HPや広報紙に掲載する。 利用登録のない自転車については指導や撤去を行う。
					目標	240	245	245	245	245	245	
					実績	199	206					
	交通防犯課	【概要】 花崎駅北口西自転車駐車場の利用を促進する。 また、自転車駐車場の指導、整理業務の委託を行う。			【評価の理由】 花崎駅北口西自転車駐車場の利用者申込について、市ホームページや広報誌で周知し、また、利用更新時期である年度末には日曜日に受付を行うなど、利用促進を図り、延べ利用者数は206人であった。							

2 交通環境の整備

(2) 歩行者や自転車利用者の通行空間の確保

④踏切道の交通安全対策

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所管課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	踏切道の拡幅等整備箇所数 (箇所)						
65	踏切道の拡幅等の促進（生活道路新設改良事業、幹線道路新設改良事業） 道路課	【目的】 狭あいな踏切等を拡幅し、交通の安全性及び円滑な通行を確保する。 【概要】 鉄道事業者と協議を行い、改良内容について合意を得たのち、踏切拡幅計画の策定及び踏切道の改良整備を行う。	・東武日光線第148号踏切の拡幅について地元説明会を実施 ・東武日光線第148号踏切の拡幅について東武鉄道と調査設計協定書の締結	1 目標を達成	指標(単位)	踏切道の拡幅等整備箇所数 (箇所)						・引き続き、東武鉄道と連携しながら進めて行く。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	1	0	0	1	0	0	
					実績	0	0					
【評価の理由】 東武日光線第148号踏切の拡幅工事について、東武鉄道と調査設計協定書の締結を行い、令和5年度工事完成に向けて、予定通り設計を開始した。												

第2次加須市交通安全計画 進行管理調書（実施状況報告書）

3 救助・救急活動の充実

(1) 救助・救急体制の整備

【評価】は6段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている、5 未着手、6 コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	市民を対象とした救命講習会受講者数 (人)						
66	市民を対象とした救命講習会の実施（埼玉東部消防組合運営事業）	【目的】 埼玉東部消防組合の消防・救急活動により、災害や事故から住民の生命、身体及び財産を守る。交通事故による負傷者に適切な応急手当を行うことにより救命率の向上を図る。	・適切な応急手当が行えるよう知識・技術の習得を推進するため、市民を対象とした救命講習会を実施	6 コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	市民を対象とした救命講習会受講者数 (人)						・感染予防対策を講じたうえで引き続き実施する。
	年度	2年度			3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
					目標	—	1,500	1,500	1,500	1,500	1,500	
					実績	499	274					
					【評価の理由】 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、受講者数を制限しての開催や、団体講習が開催中止となった。							
67	学校（小中高）における救命講習会の実施（埼玉東部消防組合運営事業）	【目的】 埼玉東部消防組合の消防・救急活動により、災害や事故から住民の生命、身体及び財産を守る。交通事故による負傷者に適切な応急手当を行うことにより救命率の向上を図る。	・適切な応急手当が行えるよう、教職員・保護者・生徒に対し知識・技術の習得を推進するため、救命講習会を実施	6 コ ロ ナ に よ る 影 響	指標(単位)	学校（小中高）における救命講習会の開催回数 (回)						・感染予防対策を講じたうえで引き続き実施する。
	年度	2年度			3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)			
					目標	—	35	35	35	35	35	
					実績	7	6					
					【評価の理由】 新型コロナウイルス感染症拡大防止により、開催中止となった。							
	危機管理防災課	【概要】 交通事故による負傷者に適切な応急手当を行うことにより救命率の向上を図る。										
	危機管理防災課、学校教育課	【概要】 交通事故による負傷者に適切な応急手当を行うことにより救命率の向上を図る。										

3 救助・救急活動の充実

(2) 救急医療体制の充実

①メディカルコントロール体制の充実

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	救急救命士を含む救急隊員の再教育回数 (回)						
年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)						
68	メディカルコントロール体制の充実（埼玉東部消防組合運営事業）	【目的】 埼玉東部消防組合の消防・救急活動により、災害や事故から住民の生命、身体及び財産を守る。交通事故による負傷者に適切な応急手当を行うことにより救命率の向上を図る。	・救急隊員の知識・技術の向上を図り、より質の高い救急医療体制を確保するため、計画的に研修を実施する。	1 目 標 を 達 成	目標	—	40	40	40	40	40	・引き続き、計画的に研修を実施する。
	実績	28			57							
	危機管理防災課	【概要】 救急隊員の知識・技術の向上を図り、より質の高い救急医療体制を確保する。			【評価の理由】 救急隊のほか、消防隊配置の救命士も加え研修を実施できた。							

【参考】

※埼玉東部消防組合加須消防署提供

項目(単位)	交通事故による救急出動件数 (件)					
年 度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
出動件数	359	395				

②ドクターカー・ドクターヘリの活用

【参考】

※埼玉東部消防組合加須消防署提供

項目(単位)	ドクターヘリの要請回数 ※ドクターヘリ飛行場外離着陸場 市内23箇所 (件)					
年 度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
要請回数	10	16				

第2次加須市交通安全計画 進行管理調書（実施状況報告書）

4 交通事故被害者支援の推進

(1) 交通事故相談事業の活用促進

①市民相談の実施

【評価】は6段階評価（1 目標を達成、2 概ね達成、3 やや遅れている、4 大幅に遅れている、5 未着手、6 コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	弁護士法律相談の開催日数 (日)						
69	弁護士法律相談の開催（弁護士相談事業）	【目的】 市民が抱える様々な問題について解決を図り、安心して生活が送れるよう支援する。	・弁護士法律相談 月2回（本庁）、月1回（総合支所）	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	弁護士法律相談の開催日数 (日)						<ul style="list-style-type: none"> 空き状況をホームページに掲載し、活用率をさらに高める。 高齢者や交通弱者の方へ、市内の身近な弁護士の存在をお伝えする。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	—			60	60	60	60	60			
	実績	60			60							
市民相談室	【概要】 弁護士法律相談を本庁舎で月2回、各総合支所で各々月1回開催する。				【評価の理由】 毎月5回実施することができた。							

4 交通事故被害者支援の推進

(1) 交通事故相談事業の活用促進

②交通事故相談窓口の紹介

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	市ホームページへの交通事故相談窓口情報の掲載 (回)						
70	交通事故相談 窓口の紹介 (交通安全啓 発事業)	【目的】 市民が交通事故に遭うこと なく、安全で安心して生活が送 れるようにするため、交通安全活 動を推進する。	・市ホームページに埼玉 県や市、各団体の交通事 故相談窓口の情報を掲載	1 目 標 を 達 成	指標(単位)	市ホームページへの交通事故相談窓口情報の掲載 (回)						・引き続き、市ホーム ページに掲載し、必要に 応じて、広報紙などへの 掲載について検討する。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
	目標	1			1	1	1	1	1			
	実績	1			1							
交通防犯課	【概要】 ・各種交通安全運動期間に交通安全 の啓発を行う。 ・参加・実践型高齢者交通安全教 室、子ども自転車運転免許事業、中 学生対象の交通安全教室を実施す る。 ・敬老会等各地域のイベントにおけ る交通安全啓発を実施する				【評価の理由】 市ホームページに、交通事故に遭った際の相談窓口に関する情報を掲載 し、広く市民に周知できた。							

4 交通事故被害者支援の推進

(2) 交通事故被害者の支援

①交通事故死傷者に対する救済

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度 of 取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等
					指標(単位)	交通災害共済加入率 (%)						
71	交通災害共済への加入促進 (交通安全啓発事業)	【目的】 埼玉県総合事務組合が運営する市町村交通災害共済を活用し、交通事故により災害を受けた方又はその遺族を救済する。	・交通災害共済への加入を促進するため、自治協力団体連合会を通して、加入申込書を配布 ・郵便局窓口に参加申込書を配置	3 やや遅れている	指標(単位)	交通災害共済加入率 (%)						<ul style="list-style-type: none"> ・広報誌、市ホームページ等で交通災害共済制度の周知を行う。 ・広報紙等で交通災害共済制度及び加入費の一部助成について周知を図る。 ・加入を促進するため、自治協力団体と協力して加入申込書の配布や郵便局窓口に参加申込書を配置を行う。 ・令和5年度加入について、新たに新聞折込チラシによる加入促進を図
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)	
					目標	20	12	12	12	12	12	
					実績	11.6	8.7					
	交通防犯課	【概要】 ・埼玉県市町村総合事務組合による交通災害共済への加入を促進する。 ・交通災害共済加入を希望する日常生活に困窮している市民に対し、交通災害加入費の一部を助成する。 ・交通事故で災害を受けた加入者又はその遺族に対し共済見舞金を支給する。			【評価の理由】 交通事故による災害者救済制度としての必要性・有効性の観点から、自治協力団体等と協力し加入促進を図っているが、任意加入であり、加入率が目標に達しなかった。							

4 交通事故被害者支援の推進

(2) 交通事故被害者の支援

②交通遺児に対する支援

【評価】は6段階評価（1目標を達成、2概ね達成、3やや遅れている、4大幅に遅れている、5未着手、6コロナによる影響）

No	事務事業名 所 管 課	事業の目的 事業の概要	3年度の取組内容	評価	成果・目標指標 評価の理由							事業の改善点・ 今後の取組内容等	
					指標(単位)	広報紙での周知回数 (回)							
				1 目 標 を 達 成	年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
72	埼玉県交通安全対策協議会による支援の周知（交通遺児支援事業）	【目的】 埼玉県交通安全対策協議会による交通遺児に対する援護金及び援護一時金給付制度について、周知を図る。	・広報紙への掲載のほか、窓口に冊子を配置し、制度の周知を図った。		指標(単位)	広報紙での周知回数 (回)							・引き続き広報誌等への掲載により、制度の周知を図る。
					年度	2年度	3年度 (決算)	4年度	5年度	6年度	7年度 (目標年)		
					目標	—	2	2	2	2	2		
				実績	2	2							
	子育て支援課	【概要】 埼玉県交通安全対策協議会による交通遺児に対する援護金及び援護一時金給付制度について、広報紙へ掲載し周知を図る。		【評価の理由】 広報紙への掲載を昨年に引き続き2回行ったため。また、窓口に交通事故被害者のご家族への援護金のしおり等の冊子を配置し、制度の周知を図った。									